としま生きものさがし

クロスジギンヤンマの羽化
西巣鴨一丁目(西巣鴨小学校)

ニュースレター　令和3年号
編集・発行:豊島区 環境清掃部 環境政策課

調査期間(ちょうさきかん):
令和3年6月1日～9月30日

皆(みな)さんから
いただいた
フォトコーナー

ツマグロヒョウモン
長崎六丁目(さくら小学校)

コゲラ
雑司ヶ谷三丁目

クビキリギス
南大塚一丁目

カナブン
池袋本町四丁目

アブラゼミ
高田一丁目

調査(ちょうさ)・報告(ほうこく)
ありがとう
ございました!

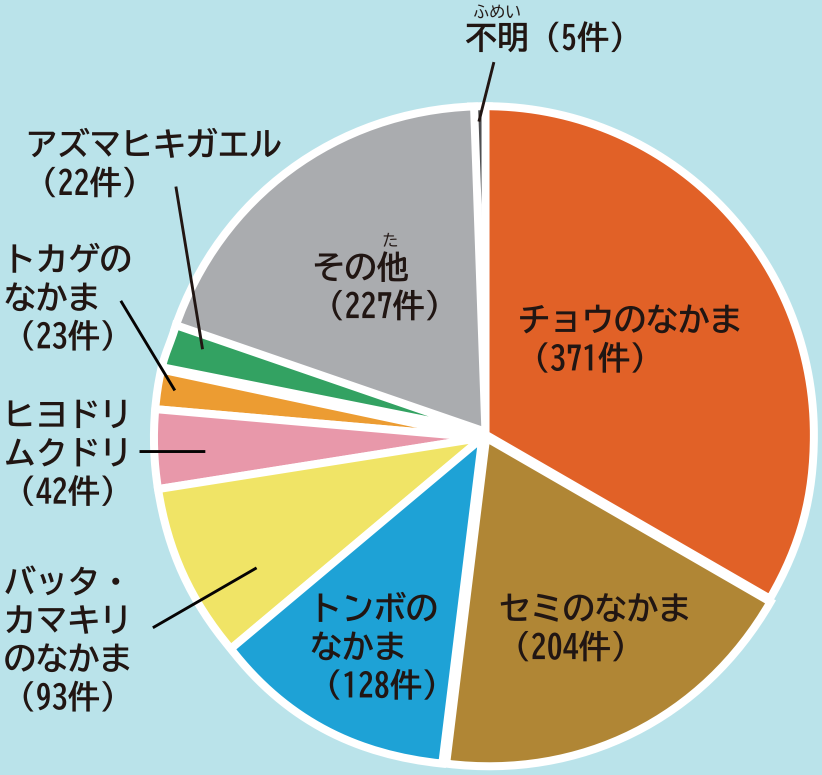
コノシメトンボ
南長崎四丁目(椎名町小学校)

キアゲハ
西池袋三丁目

ニホンヤモリ

ジャコウアゲハ
池袋本町四丁目

調査結果



総報告件数：1,115件（うち区外15件）
さがしてほしい生きものの報告件数：883件
のべ参加人数：589人

見つけた生きものランキング

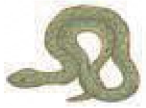
1 ミンミンゼミ（67件）
公園や街路樹など、いろいろなところで声が聞かれました。

2 ナミアゲハ（64件）
成虫だけでなく、幼虫の報告もありました。

3 アブラゼミ（62件）
写真を多くいただきました。虫とりなどで人気です。

区内の希少な生きもの

- **アオダイショウ**
学習院大学のある、目白一丁目で見つかりました。



- **ヒグラシ**
スギなどの針葉樹林を好むため、区内では数が少ないです。

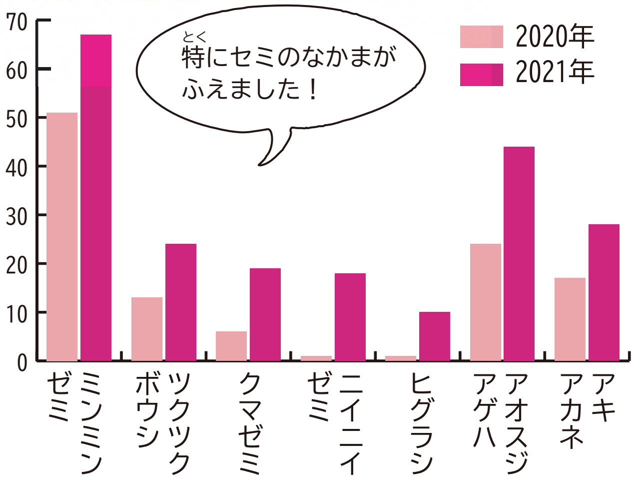
- **ツミ**
タカのなかまです。染井霊園と雑司ヶ谷霊園で見つかりました。

・初めて報告があった生きもの

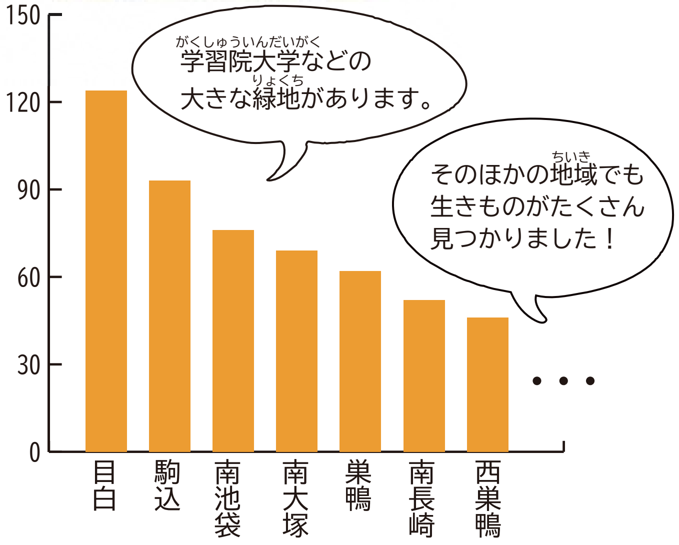
アオダイショウやスズミグモなど。スズミグモは暖かい地域のクモですが、温暖化で分布が北上しています。

スズミグモ

・報告がふえた生きもの



・地域別の報告件数



団体では、高松第二保育園と、南長崎はらっぱ公園を育てる会の皆さんから報告をいただきました。

たくさんのご参加、ありがとうございました！

としまで見つけた生きものマップ

見つかった主な生きものと場所を紹介します。

幼虫はミカンのなかまの葉を食べます。ほとんどの地域で見つかりました。

成虫は日陰を好んで移動します。林のある公園などで見つかりました。

明るい水辺を好みます。プールやビオトープなどでも見つかりました。

主に木の上に棲みます。公園や小学校、駅前や商店街でも見つかりました。

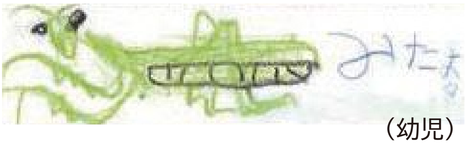
豊島区の個体は人が放したものと思われます。

公園や川などの上を飛んで小さな虫をとらえます。2015年以来の報告です。

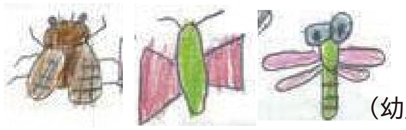
感想

すてきなイラストもたくさんいただきました！

いつも「蝶々だね～トンボだね～」と言うだけなのに、今回の調査では、昆虫の図鑑で種類を調べたりして、親子で楽しむことができました。「アオスジアゲハがいた！」などと覚えていました。（母）（幼児）

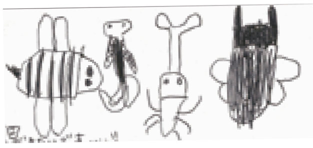


（幼児）



（幼児）

聞きなれない鳴き声がして見上げてみると、見慣れない鳥が針葉樹の枝で何か小さな生き物を食べていました。
帰宅してネットで調べたところ「ツミ」という鳥でした。長いこと東京で暮らしていますが、猛禽類を見たのは初めてです。豊島区には良い自然環境が残っていると感心しました。（60代）



（幼児）

生きものにコロナは関係ないのですね。感染者が増えた夏でも、生きものは変わらず生活していました。マスクしながら生きもの観察は、大変でした。でも、楽しかったです。（50代）

一番すきな虫　そだてた事があるギンヤンマです。（小学生）

もともと生きものなどが大すきでこういうきかくがあると、とてもうれしくなって楽しく虫や鳥をさがせるようになって、このきかくのおかげで自由けんきゅうテーマも決められました。本当にありがとうございます。とでんぞうしがやの「ぞうしがやぼち」に生き物がたくさんいます。行ってみてください。（小学生）

知ってる？「蛙合戦」

蛙合戦の様子

「蛙合戦」とは、繁殖期のヒキカエルのオス同士がメスをめぐって争う様子のことです。他のオスをバシャバシャとけり飛ばす様子は迫力があり、思わず見入ってしまう光景です。豊島区で見られるアズマヒキガエルも、2～3月に水辺に集まり蛙合戦をします。

春が近づき地面の温度が上がると、冬眠から目ざめ、においを頼りに自分が生まれた池に移動します。オスはメスを見つけると背中に抱きつきますが、他のオスも群がるため、そこで蛙合戦が起こります。

強烈なキックはさながら格闘技のよう。あちこちから聞こえるクックッ…という声はリリースコールといい、他のオスにしがみつかれたオスが「離して！」と言っている声です。メスは鳴きません。

そうしてメスを最後まで抱きかかえていられたオスがカップルとなります。メスは長いひも状の卵のかたまりを産み、中の卵の数は多いもので１万個ほど。産卵を終えるとそれぞれすみかに戻り、ふたたび土の中で眠って本格的な春を待ちます。

ひも状の卵のかたまり

蛙合戦が行われるのは１～２週間の間だけ。寒さがゆるむころ、ぜひご近所の池などで観察してみてください。

としま生きものさがし について

なぜ生きものをさがすの？

地球上では、たくさんの生きものがいろいろな場所で暮らし互いに支え合って生きています。「としま生きものさがし」は、皆さん自身で調べてもらうことで、身近な生きものへの理解や関心を深めていただくことを目指しています。

結果はどうやって見るの？

ニュースレターや区のホームページ（生物多様性のページ）でお知らせします。これまでのニュースレターも区のホームページからダウンロードできます。

環境省運営のwebサイト「いきものログ」にも情報を入力していますので、区内にどんな生きものがいるか調べることができます。

どうやって参加するの？

2022年度の参加方法は、区の広報やホームページでお知らせします。（2022年6月を予定）

SDGsって？

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」という意味です。地球上に生きる人々が安心して自分らしく、将来も今と同じような地球環境で暮らせるように、世界が直面している様々な課題を、協力しながら2030年までに解決することを目指しています。

「としま生きものさがし」でいろいろな生きものをさがしてもらうことは、15番目の目標「陸の豊かさも守ろう」につながっています。生きものたちが互いに支えあって生きている豊かな環境があるからこそ、私たちの生活もうまくなりたっています。

皆さんも下の17の目標の中から、自分にできることは何か考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

編集・発行：豊島区 環境清掃部 環境政策課　TEL：03-3981-1597　編集協力：株式会社 生態計画研究所